

外國宣傳情報第二號

内閣情報部一〇五

一 成都中央通信社新聞電報放送

(臺灣總督府交通局遞信部聴取)

十月一日

一 (重慶發) 月曜日王寵惠外交部長は日獨伊三國同盟に對する支那の態度に關し支那及外國人記者の質問に答へて左の如く述べた。

日獨伊三國は九月二十七日同盟條約を締結し之によつて日本は獨伊兩國の歐洲に於ける指導的立場を認めると共に獨伊兩國も又東亞に於ける日本の新秩序建設を認めるに至つたのである。而して右條約は東亞及歐洲に於ける他の東亞及歐洲各國の合法的立場及權益を全く無視し之を破壊せんとするものである。

支那政府は世界各國が平等な立場を以て友好裡に生活し得るためあくまで國際公法を嚴守せんとする方針である。故に新秩序建設の美名にかくれて合法的國際秩序を破壊せんとする侵略的行爲に對しては支那は其の傳統的政策に基き斷乎之に反對するものにして支那は官民擧つて世界秩序維持のため抗戰繼續を決議してゐるのである。支那政府は所謂大東亞新秩序なるものを認めず特に日本の東亞の覇主たる主張に對しては之をあくまで否認し、三國間に締結された如何なる條約も協定も支那の合法的立場及權益を左右す

支那の對する態度に關し支那及外國人記者の質問に答へて左の如く述べた。日獨伊三國は九月二十七日同盟條約を締結し之によつて日本は獨伊兩國の歐洲に於ける指導的立場を認めると共に獨伊兩國も又東亞に於ける日本の新秩序建設を認めるに至つたのである。而して右條約は東亞及歐洲に於ける他の東亞及歐洲各國の合法的立場及權益を全く無視し之を破壊せんとするものである。支那政府は世界各國が平等な立場を以て友好裡に生活し得るためあくまで國際公法を嚴守せんとする方針である。故に新秩序建設の美名にかくれて合法的國際秩序を破壊せんとする侵略的行爲に對しては支那は其の傳統的政策に基き斷乎之に反對するものにして支那は官民擧つて世界秩序維持のため抗戰繼續を決議してゐるのである。支那政府は所謂大東亞新秩序なるものを認めず特に日本の東亞の覇主たる主張に對しては之をあくまで否認し、三國間に締結された如何なる條約も協定も支那の合法的立場及權益を左右す

るものでは無く支那政府の態度及方針に何等の影響をも及ぼすものでない事はいふまでもないのである。

三(福州發)九月二十八日後永法にて休會中であつた第三回福建國民參政會議に於ては福建經濟五ヶ年計畫に對し海外投資を仰ぐべく決議、尙福建食糧管理問題、現金の替りに農作物を以て農稅支拂をする實行可能性に對し討議する處があつた、又席上湯氏は「北西省の急速な發展」に關し演説をなした。

十月二日

三(重慶發)漢口ヘラルド紙は日獨伊三國同盟に關し左の如き社説を掲げてゐる

獨伊兩國は日本に加擔する事によつて支那との友好を全く捨てたるに至つたが三國同盟は支那の抗戰力を聊かも弱めしめる事にはならないから右同盟によつて日本は何等轉る所は無いのである。

更に右同盟締結前より獨伊兩國は精神的に對日好意を示して來た事を指適し

獨伊兩國は四億五千萬の支那人の感情を無視して滿洲國を承認し又日本に敬意を拂ふため軍事顧問の撤退を行つたが右は兩國が支那に對して行つた行爲の最悪なるものである、更に其後汪偽政府を承認したが之は單事的政治的意義を有しないから支那の抗戰に對して何等の影響をも與へるものでは無い。獨伊兩國が支那を捨てて日本を盟邦に選んだ事

は其の極東政策の最大なる誤りである。支那國民は敵と味方に對する處置を十分心得てゐるから支那に敵對し日本を支持する國に對しては必ずや報復を試みるであらう

と述べ最後に支那は今日の國際狀勢が支那に有利に展開しつつある事より抗戰の前途を十分樂觀し得るものであると左の如き結論を下してゐる

支那は今日何れが味方であり何れが敵であるかを知つてゐるからこの様な明瞭な判断を以てすれば事は簡單である。日本は一方に支那問題をかかへ他方今次同盟締結によつて英米兩國の反對にあはねばならないから日本の運命は今や取返しつかないものとなるであらう。

125

外國宣傳情報第三號

内閣情報部一〇・五

一重慶日本語放送（四日）

（東京都市遞信局録取）

「今日は日獨伊三國軍事同盟の値打に關し御話する。大體この軍事同盟は獨逸から發動したもので、日本はピトラーの密使スターマースとの間に交渉を進めたもので、この同盟に参加するに就て、御前會議を開き、六時間の會議、八時間の協議、計十四時間を費して始めて決定したものである、故締結の歴史的背景からなつて獨伊外交の勝利であつて日本の外交の勝利ではない、日本は英米特に米國に惡辣な感情を抱いてゐるが極東の情勢が切迫するので、利益のために曖昧な態度を執り正面衝突を避けて居たのである、英國の力は獨逸に牽制され之に對し集中されて居るので米國が英國の權益を擁護し日本に當らんとして居るのである、……不明……日本は一體どうしてこの條約が必要なのであらうか、それは南進が必要であるからである、三年の中日戰爭で精魂をからして居り國際情勢は目まぐるしく日本の目前をかすめ過ぎた、南進は彼の唯一の要求であるが中國に對する壓迫を強化しても得る所はなく、この状態が續けば中國事變の解決方法がなくなつて了ふのである、英、米の合作は益々緊密化して居り、ビルマ・ルート開放の可能性が濃く米國の極東に對する態度は強化し對日禁輸も必然となりつゝある。」

（東京都市遞信局録取）